盂蘭盆会法要（うらぼんえ）

日時　8月13日（火）
午後1時30分
～3時30分

講題
「真宗の供養」

ご講師　松井 聰師（心願寺）

ご講師からのメッセージ

お盆の季節になると"供養"という言葉が表に出てくる時期と言えます。日頃仏事を疎かにしていた人も、〇〇供養という文字が目に入り、聞こえてくると、心が揺らぎ身が動くということが起こることもあります。

亡き方やご先祖の供養のために何かをしてあげる、という心は尊い心であります。お仏壇を綺麗に掃除して、お寺様を迎えてお盆のお勤めをしてもらう、お墓参りをして、お寺にもお参りをして、お供えをさせてもらうことによって、亡き方の供養になり、自分も何かスッキリとしたような気持ちになり、善い事をしたと感ずるのです、こういう供養は追善供養と言います。

親鸞聖人は「父母の孝養のためとて、一返にても念仏申したること、いまだそうらわず」（歎異抄第5章）と追善供養をきっぱりと否定なさいました。

それは何故なのか？　真宗の供養とはどういうことか？
仏法に尋ねてみたいと思います。

真宗大谷派（東本願寺）天満別院